

中央会やまぐち

特集 令和7年度 地域中小企業組合実態調査結果の概要

Close Up組合 企業組合志舞

中央会TOPICS

組合TOPICS

景況動向



2

2026
FEB

Vol.814





Close Up組合

クローズアップ

企業組合志舞

〒754-0021 山口市小郡黄金町3-2

TEL 083-902-5154

理事長 倉重 智子

安心で美味しいお米を販売して10周年!

組合の概要

本組合は、カルスト台地で有名な美祢市秋芳町で、化学肥料や農薬を使用しないお米の生産等をおこなっている女性農業者の姉妹が、自分達の作ったお米や加工品などを、直接、消費者に届けたいという想いから設立しました。

本組合が運営する新山口駅近くに設けた直売所「結び家くらとも」では、自らが生産したお米や、そのお米を使った弁当、おにぎり、菓子など、消費者に安心して食べてもらえるようにこだわった商品を販売しています。

この度、この直売所は、多くのお客様の支えで、オープンから10周年を迎えることが出来ました。

安心でおいしいお米づくり

生産するお米は、山口県の「エコやまぐち農産物」の認証を受けており、化学肥料・農薬を一切使っていないお米（エコ100）と、化学肥料は使わず初期に除草剤を一回だけ使用したお米（エコ50）とがあります。

また、食味にもこだわりをもって生産しており、米・食味分析鑑定コンクール国際大会で、特別優秀賞を受賞しています（受賞には、少なくとも食味値85以上が必要で、多くの人が美味しいと感じるのは70以上）。

地域の食を支える

安心な食材提供への想いに共感した地域の幼稚園から、園児の昼食弁当の製造依頼があったり、近隣の企業で働く方のランチ需要を引き受けるなど、地域の食を支えています。

また、昨今、スーパーなどの小売店では、米価高騰の状況にある中、お米は毎日の食事なので、お客様

に寄り添いたいという想いから、極力値段は上げずに、こだわって生産したお米にもかかわらず、スーパーなどよりも安価に販売しています。

連携の拠点として

直売所では、県内の企業組合と連携した取り組みもしております、他の企業組合が生産しているハーブティーや健康茶などの販売、また、同じく他の企業組合が加工した梅干しなどの加工品を、ランチ時に提供する弁当の食材に使用するなどもしています。

さらには、昨年の米不足の際には、弁当や餅を製造している複数の企業組合がお米の入手が困難となり、商品の販売が出来なくなるという危機に陥ったところ、同じ企業組合同士ということで、生産したお米（うるち米やもち米）を200袋（30キロ／袋）以上融通しました。

これからも同じ企業組合同士、連携を深めていきたいと考えています。



特集 令和7年度 地域中小企業組合実態調査結果の概要

中小企業組合を取り巻く経済社会環境が大きく変化する中、県内中小企業組合の現状と課題を把握し、組合活性化に向けた支援を強化することを目的として、組合実態調査を実施しましたので、その概要をお知らせします。

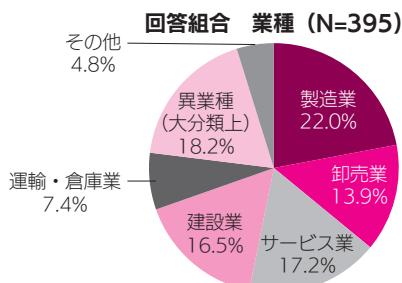
I. 調査の概要

調査時点 令和7年9月1日現在

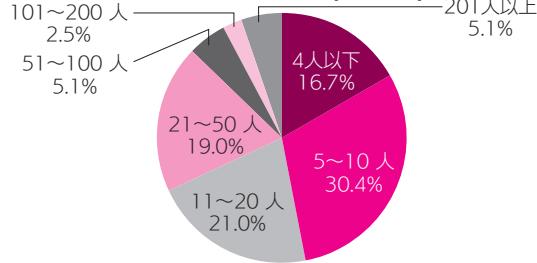
調査対象 448組合(事業協同組合・連合会、商工組合、企業組合、協業組合、信用組合、商店街振興組合・連合会、生活衛生同業組合)

回答数 395組合

回答組合 業種 (N=395)



回答組合 組合員数(N=395)



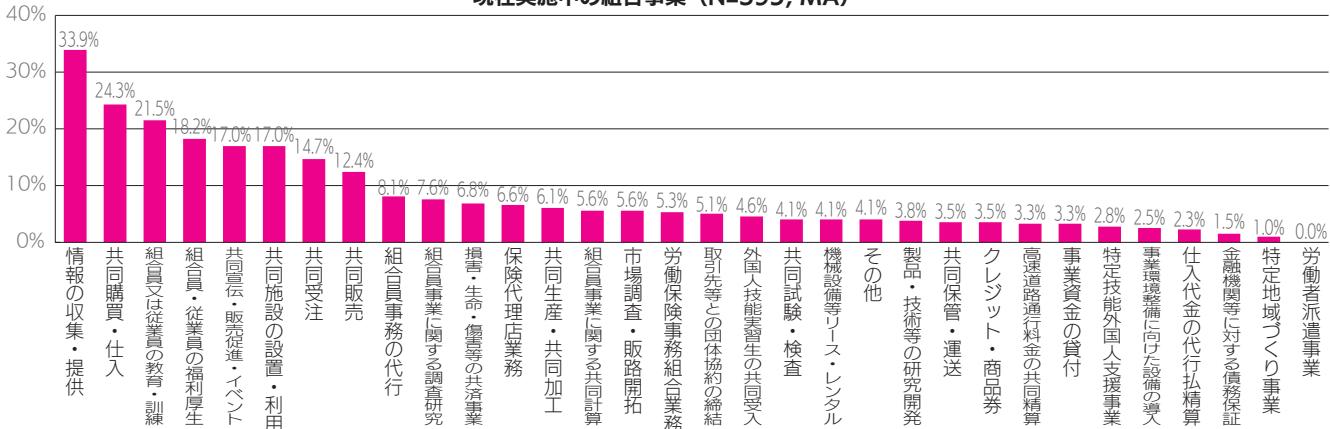
II 主な調査結果

1 組合事業について

(1) 現在実施中の組合事業（複数回答）

現在実施している組合事業は「情報の収集・発信」33.9%、「共同購買・仕入」24.3%、「組合員又は従業員の教育・訓練」21.5%、「組合員・従業員の福利厚生」18.2%の順となり、次いで「共同宣伝・販売促進・イベント」17.0%、「共同施設の設置・利用」17.0%となっている。

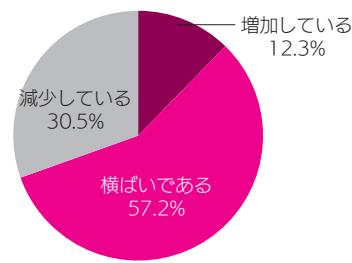
現在実施中の組合事業 (N=395, MA)



(2) 3年前と比較した組合事業の利用傾向(単一回答)

組合員の組合事業利用傾向は、「横ばい」が57.2%と半数を超える、「減少」30.5%、「増加」12.3%となっている

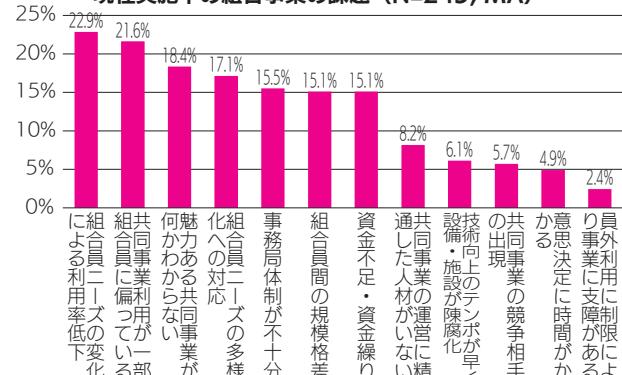
3年前と比較した組合事業の利用傾向 (N=325, SA)



(3) 現在実施中の組合事業の課題（複数回答）

「組合員ニーズの変化による利用率低下」22.9%、「共同事業利用が一部組合員に偏っている」21.6%、「魅力ある共同事業が何かわからない」18.4%、「組合員ニーズの多様化への対応」17.1%の順となっている。「その他」では原材料費高騰、施設の老朽化、市場縮小等としたほか、課題は特にないとの回答もあった。

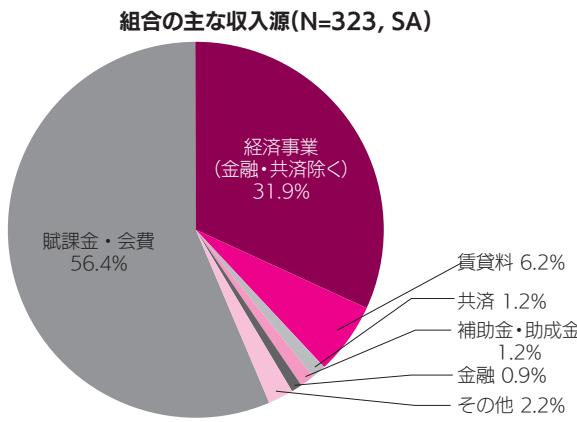
現在実施中の組合事業の課題 (N=245, MA)



2 組合運営について

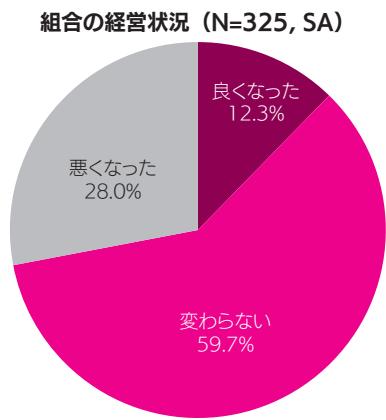
(1) 組合の主な収入源（単一回答）

組合の主な収入源は「賦課金・会費」56.4%、「経済事業（金融・共済除く）」31.9%の順で多く、これらで9割弱を占めている



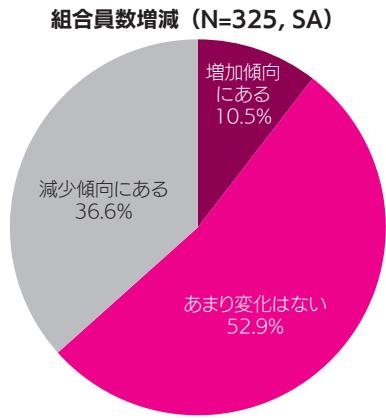
(2) 3年前と比較した組合の経営状況（単一回答）

3年前（設立3年未満は設立時）との比較における組合の経営状態は「変わらない」が59.7%と半数を超える、「悪くなった」28.0%，「良くなった」12.3%となっている。



(3) 3年前と比較した組合員数（単一回答）

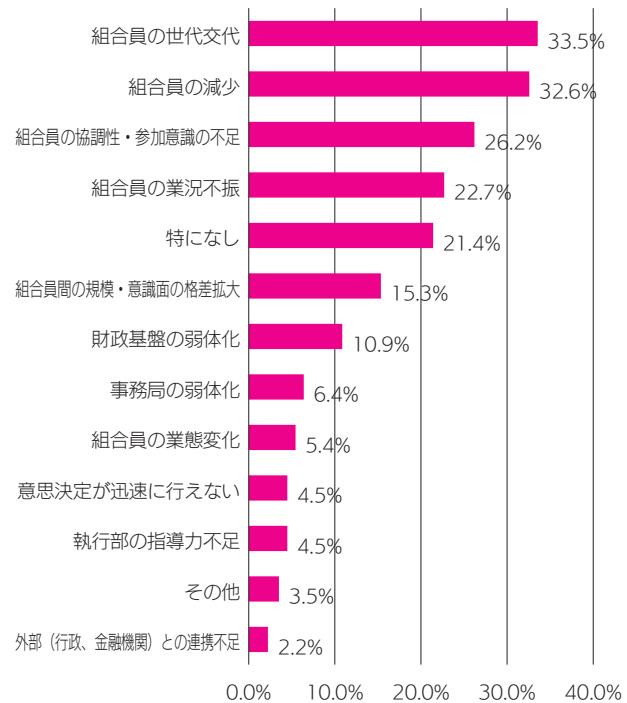
3年前（設立3年未満は設立時）との比較における組合員数は、「あまり変化はない」52.9%、「減少傾向にある」36.6%、「増加傾向にある」10.5%の順となっている。



(4) 組織の運営体制面の課題（複数回答）

組織の運営体制面の課題は、「組合員の世代交代」33.5%、「組合員の減少」32.6%、「組合員の協調性・参加意識の不足」26.2%の順で多くなっている。「特になし」の回答も21.4%あった。

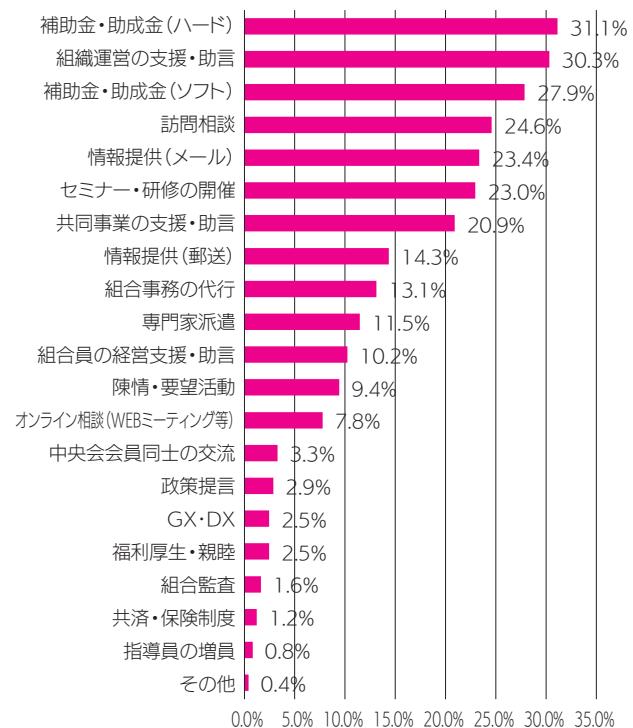
組織運営体制面における課題(N=313, MA)



3 中央会の事業や取組に期待すること

中央会の事業や取組に期待することは、「補助金・助成金（ハード）」31.1%、「組織運営の支援・助言」30.3%、「補助金・助成金（ソフト）」27.9%、「訪問相談」24.6%、「情報提供（メール）」23.4%、「セミナー・研修の開催」23.0%の順となっている。

中央会の事業や取組に期待すること（有効回答N=244, MA）



令和7年度組合青年部山口県大会を開催

山口県中小企業団体中央会青年部

1月15日(木)、山口市「かめ福オンプレイス」にて、令和7年度組合青年部山口県大会を開催しました。株式会社ひびき精機 代表取締役 松山功氏をお招きし「不易流行と三つの百～100年企業・100人企業・100億企業～」をテーマにご講演いただきました。

事業承継において取り組まれたこと、目指すべき三つの百についてそれぞれ今後の展望をお話しいただきました。参加者からは「企業規模・業種に関係なく組織としての在り方を考えるきっかけとなった。今後の目指すべき方向性を考えていきたい。」との声もあり、実りある時間となりました。研修会終了後には懇親会も開催され、会員同士の交流を深められる機会となりました。

(総務企画部 後)



やまぐちビジネスプランコンテスト2026を開催

山口県中小企業団体中央会

1月17日(土)、山口市「KDDI維新ホール」にて、山口県における新規事業創出と育成を目的とした「やまぐちビジネスプランコンテスト2026」を関係機関と共同で開催しました。

村岡県知事による挨拶に続き、4つの部門（女性活躍部門／連携促進部門／地域活性化部門／学生部門）から選ばれた10組のファイナリストが熱意あふれるプレゼンテーションを披露しました。審査の結果、グランプリにあたる山口県知事賞にはKOMEKO88の原田陽子氏が、準グランプリの山口市長賞には藤本航生氏・吉崎陽氏がそれぞれ選ばれました。また、本会が所管した連携促進部門の最優秀賞には、公園遊具再生事業グループ（代表：沖良彦氏）の「壊さず直す。遊具を守り、子供達の笑顔を増やす公園遊具再生事業」が受賞されました。

(連携支援部 平田)



山口労働局長表彰を受賞

山口県中小企業団体中央会

1月14日(水)、山口労働局において、「労働行政関係功労者山口労働局長表彰状贈呈式」があり、当会の坂本専務理事が、労働行政の向上又は労働行政に係る各施策の推進に貢献した功績が大であるとして、鈴木輝美山口労働局長から表彰状を授与されました。

坂本専務理事は、当会推薦により山口地方最低賃金審議会や山口地方労働審議会等の委員に就任し、県内中小企業者の立場から意見を述べてきたことが評価されたものと考えています。当会として、今後とも、厳しい環境にある事業者の皆様の声を、労働行政に反映されるよう努めてまいります。

(事務局長 浦川)



坂本専務理事・鈴木山口労働局長

土木建設DX・デジタル化推進フェスタを開催

宇都市土木建設協同組合
山口県中小企業団体中央会

12月27日(土)、宇都市「ときわ湖水ホール大展示場及び東第2駐車場」にて、土木建設業のDXや魅力を体験できるイベント「土木建設DX・デジタル化推進フェスタ」を開催しました。

イベントではラジコンで動くパワーショベルや荷物運搬用の大型ドローン、自動追尾式測量機器などのデジタル建設機器の展示や体験が行われたほか、子供向けにトイドローンや特製キーホルダーなどが当たるスタンプラリー、ドローンサッカーエクスペリエンス、大型ダンプの乗車体験なども行いました。

また、業界関係者向けのDX・デジタル機器に関するセミナーも同時に開催し、次世代への建設業の魅力発信を行うとともに業界関係者のDX・デジタル化の普及啓発も行うことができたイベントとなりました。

(連携支援部 岡村)



里の厨のホームページをリニューアルしました

里の厨事業協同組合

当組合が運営する光市農業振興拠点施設「里の厨」では、地元農業者が生産する農産物等を販売しています。この度、里の厨の最新情報をいち早くお客様に届けるため、ホームページのリニューアルを行いました。ホームページ制作にあたっては、中央会の「取引力強化推進事業」を活用しました。新しいホームページでは、新鮮な農産物の入荷情報や季節のフェア情報をタイムリーに発信するほか、野菜収穫体験や調理体験などのイベントに関する情報を掲載しています。



11月末には、苺の入荷に合わせホームページやSNSにて入荷情報をお知らせするとともに、1月17日(土)よりいちごフェアを開催しました。店内には様々な品種の苺が並び、店頭に飾られた苺の巨大なバルーンがお客様を迎えていました。

(連携支援部 宇多村)

阿武小学校にてジャムづくり教室を開催

企業組合あぶホームメイド

本組合は、1月22日(木)、阿武小学校の3年生10名を対象にジャムづくり教室を開催しました。この教室は、同校の総合学習の一環として以前より継続して実施されているものです。

当日は、伊藤理事長による組合紹介の後、キウイジャムの製造体験が行われました。組合員の指導のもと、児童たちは自ら栽培に携わったキウイフルーツを使用し、カットから鍋で煮詰める工程までを体験。自分たちが育てたキウイで作った手作りジャムが完成すると、教室は児童たちの達成感と笑顔に包まれました。

同組合では、こうした地域貢献活動を通じ、阿武町の食と魅力を次世代へ伝える取り組みを続けています。

(連携支援部 宇多村)





月次景況調査結果

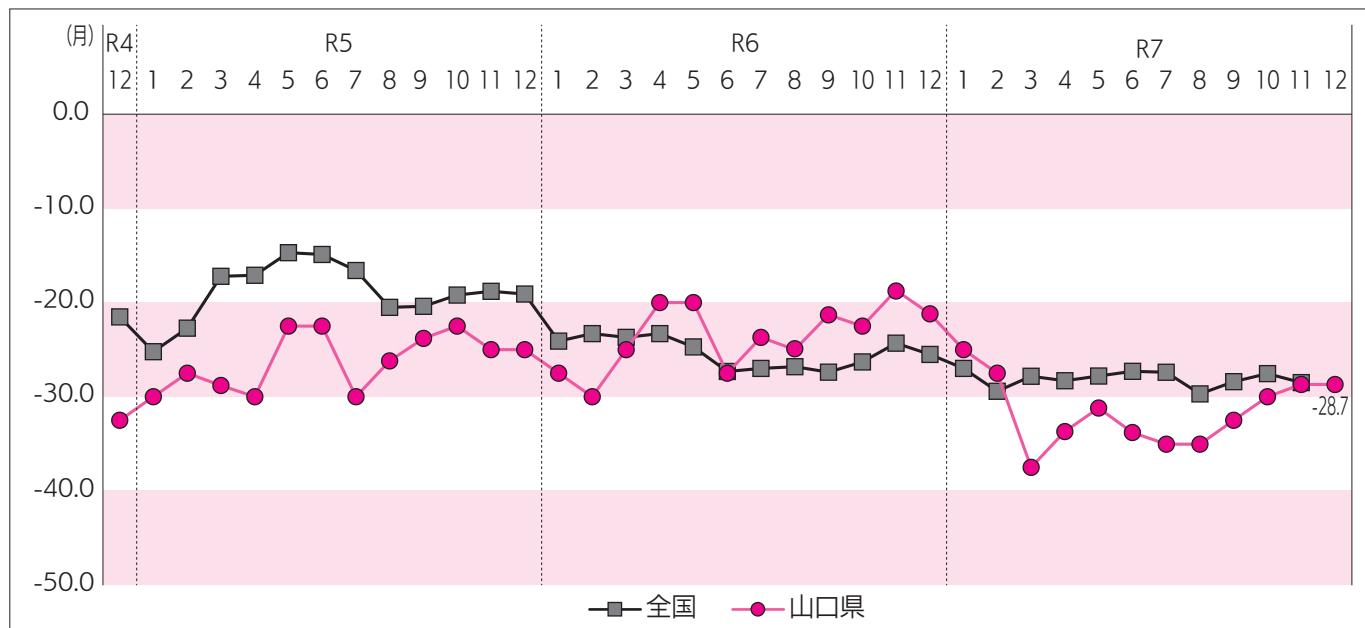
令和7年12月期

12月期の景況DI値は、運送業等時期的に需要が拡大した業種があった非製造業は改善した一方、受注が減少傾向にある業種が多く、加えて原材料価格の上昇が続く製造業は悪化し、全体として低い水準のまま横這いとなった。

製造業、非製造業ともに、物価上昇によるコスト増や価格転嫁の困難さと消費低迷、深刻な人手不足などを懸念し、先行きへの不安感を抱く報告が多く寄せられている。

業界の景況DI値の推移 —全国平均との比較—

※DI値(Diffusion Index)とは、景気の動きをとらえるための指標です。
DI値(前年同月比) = 増加・好転組合割合 - 悪化組合割合



項目別のDI値

項目	前年同月比		前月比
	R7.11月	R7.12月	
売上高	▲17.5	▲17.5	雨
在庫数量	▲6.0	2.0	云
販売価格	25.0	23.7	晴
取引条件	▲15.0	▲12.5	雨
収益状況	▲26.3	▲28.7	雨
資金繰り	▲15.0	▲13.7	雨
設備操業度	▲18.7	▲18.7	雨
雇用人員	▲15.0	▲8.8	云
業界の景況	▲28.7	▲28.7	雨

DI値

30以上	晴	-30以上-10未満	雨
10以上30未満	多雲	-50以上-30未満	大雨
-10以上10未満	云	-50未満	暴風雨

業種別 業界の景況DI値

	業種	前年同月比	前月比
製造業	食料品	▲50.0	雨
	織維工業	0.0	云
	木材・木製品	▲100.0	雨
	印刷	▲50.0	雨
	窯業・土石製品	▲50.0	雨
	一般機器	▲37.5	雨
	輸送機器	33.3	晴
非製造業	卸売業	▲20.0	雨
	小売業	▲28.6	雨
	商店街	▲50.0	雨
	サービス業	0.0	云
	建設業	▲27.3	雨
	運輸業	▲14.3	雨
	その他	▲100.0	雨

地区・業種を代表する県内組合の役職員の方から、毎月、業界の景気動向等に関する情報を収集・分析し、行政・関係機関に情報提供しています。

また、中央会ホームページ (<https://axis.or.jp/>) の「月次景況調査」にも掲載していますのでご活用下さい。

製 造 業	食 料 品		<ul style="list-style-type: none"> ○ 原材料価格の高騰が続いている。令和8年以降の動向も懸念している。（調味料製造業） ○ 洋菓子店は、卵やチョコレートをはじめとする原材料価格の高騰により厳しい状況になり、クリスマス時期の売上も低調に推移した。正月餅については価格転嫁が進んでいる。年末年始にかけて、土産菓子の売上増加に期待している。（パン・菓子製造業） ○ 冬休みや年末年始で人流が活発化し、正月用商材や土産品を中心に売上は好調に推移した。一方、寒さが遅れた影響で鍋物商品の動きは昨年より鈍化した。（水産食料品製造業）
	織 繊 工 業		<ul style="list-style-type: none"> ○ イベント用テント、ブース関係の受注が増加傾向にある。採用面では、募集をかけても応募が来ない状況で人材不足が改善されない。（帆布製品製造業）
	木 材 ・ 木 製 品		<ul style="list-style-type: none"> ○ 組合員7社の平均売上額は、前年同月比20%減であった。
	印 刷		<ul style="list-style-type: none"> ○ 年賀状の件数が激減した影響で、受注は昨年比で減少した。1月に持ち越した仕事もあるが、売上は伸び悩んでいる。
	窯 業 ・ 土 石 製 品		<ul style="list-style-type: none"> ○ 12月も製品の動きが悪く、前年比50%と大きく低迷した。1～3月も依然として低調に推移する見込みである。（コンクリート製品製造業） ○ 12月の出荷量は前月比94%、前年同月比90%であった。（生コンクリート製造業） ○ 納骨堂の普及により墓石撤去が急増している。加工技術を要しない撤去作業が中心となることで、異業種の参入増加による競争激化を懸念している。（石工品製造業）
	一 般 機 器		<ul style="list-style-type: none"> ○ 既存の受注が低迷するなか新規取引の開拓を模索しているが、県内全体の仕事量が減少しており、回復の兆しは見られない。纏まった設備投資案件についてはクライアント側で先送りの傾向があり、当面は現状維持に耐える苦しい状況が続く見通し。（防府市） ○ 前月と同様に低調な状況が続いている。受注量も減少傾向にある。若手の人材不足や後継者不在の問題に直面しているという事業者の声も聞かれる。（宇部市）
	輸 送 機 器		<ul style="list-style-type: none"> ○ 鉄道車両関係の全体の受注量は減少傾向にあり、2025年度は大幅な受注減少の見通し。半導体製造装置の部品製造業において、当初の予測より受注量が減少。今後もしばらくは低位に推移するものと思われる。
	卸 売 業		<ul style="list-style-type: none"> ○ 12月は新商品の入出庫を行い、倉庫売上に大きく寄与した。（乾物卸売業） ○ 入荷魚種の偏りにより需給バランスがやや不安定であった。（生鮮・魚介卸売業） ○ 原材料費の高騰が続くなかったが、価格転嫁が追いついていない。（各種商品卸売業 防府市） ○ 暖冬の影響により、冬商品の動きが鈍っている。（各種商品卸売業 山口市）
	小 売 業		<ul style="list-style-type: none"> ○ 12月の売上は対前年+4.8%、来館客数は対前年+5.0%。ガソリン価格下落の影響か、景況感は好転の兆しが見られる。客单価も前年並みに推移した。（各種商品小売業 萩市） ○ 12月の供給状況は前年比98.4%、来店者数は前年比98.6%。物価高騰の影響か、来店者数も減少傾向で厳しい状況にある。（各種商品小売業 下関市）
	商 店 街		<ul style="list-style-type: none"> ○ 忘年会シーズンの到来により、消費は拡大傾向にある。物価高騰の影響は続いているものの、買い物渋りが顕著だった夏場に比べれば持ち直しの兆しが見られる。（岩国市） ○ 3商店街合同プレミアム商品券は利用・集客ともに順調である。問い合わせも多数寄せられており、良い結果に繋がることに期待している。（周南市） ○ 12月は年末商戦の活発化に加え、商品券の利用期限が迫っていることも重なり、来街者数は微増傾向にある。一方、年単位で見ると来街者数は年々減少しており、長期的な減少傾向に歯止めがかかっていない状況。（下関市）
非 製 造 業	サ ー ビ ス 業		<ul style="list-style-type: none"> ○ 業界では受付・お渡し業務のオートメーション化の機械が注目を浴びている。人手不足の解消・コスト削減に向けて、同様の動きは今後も増えると予測される。（普通洗濯業） ○ 年末の気候が穏やかだった為、飲食店は多くの来客で賑わった模様。（飲食業） ○ 入浴者数及び売上高は、前年比5%の減少となった。入浴料金の値上げ及び、物価高騰等で観光客が減少した影響と推察される。（旅館業）
	建 設 業		<ul style="list-style-type: none"> ○ 仕事量は順調に推移している。一方で、人材不足の問題は改善しておらず、特に若手人材の採用に苦慮している。（管工事業） ○ 12月は閑散期となり、他社応援や現場仕事で仕事量を確保した。春先の見積もりは多いが、1～2月の物件は少なく、今後も不透明な状況が続く見込み。（鉄骨・鉄筋工事業） ○ 12月の受注高は対前年同月229.0%、今年度の累計は対前年比94.4%。（一般土木工事）
	運 輸 業		<ul style="list-style-type: none"> ○ 年末年始は荷動きが一時的に活発化し、倉庫保管も安定稼働が継続している。一方で、諸コストの増加を受けて、値上げ交渉を継続して進めている。（一般貨物自動車運送業） ○ 12月の取扱高は対前年比で若干増加している。依然として人手不足が続いていること、業界全体として、認知度を高める等の対策を進める必要性がある。（港湾運送業）
	そ の 他		<ul style="list-style-type: none"> ○ 深刻な人手不足により、人件費の引き上げなしには人材確保が困難な状況。さらに、原材料費・エネルギー価格の高騰により、多くの事業所で収益が悪化している。（介護事業）



Instagram採用で成果が出た 採用者等5件以上を実現した 実践事例公開セミナーのご案内

こんな方におすすめ！

- SNSを運用しているが、採用や応募につながっていない経営者・人事担当者
- Instagram採用に興味はあるが、何から始めればよいかわからない方
- ノウハウを学ぶだけでなく、実際に行動・実践まで落としたい企業・担当者

開催日時：令和8年3月6日(金) 14:00～16:30

開催場所：かめ福オンプレイス
(〒753-0056 山口市湯田温泉4-5-2)

講 師：株式会社BESW 代表取締役 田中 千晶 氏



参加申込みフォーム

BCP・事業継続力強化計画策定支援事業のご案内

中央会では、県内事業者の皆様がBCP・事業継続力強化計画の策定にあたり直面する課題を解決するため、各種相談・専門家派遣や個別組合での研修会を開催していますので、是非ご相談ください。

【事例紹介】山口県葬祭業協同組合

12月11日(木)、ホテルサンルート徳山にて、事業継続力強化計画研修会を開催しました。はまなか中小企業診断士事務所の濱中辰夫氏を講師に迎え、事業継続力強化計画の概要や必要性、策定のメリット、具体的な策定のポイントについて解説していただきました。

研修会では、県内各地に拠点を構える組合員の実情に合わせ、それぞれを取り巻く環境や災害リスクに即した計画を策定することの重要性が挙げられました。また、葬祭業においては従業員の安全確保だけでなく、「参列者の安全を守る」という視点が不可欠であることについても、改めて認識を深める機会となりました。



山口県中央会創立70周年記念式典のご案内



このたび、本会は創立70周年という大きな節目を迎えます。昭和31年の設立以来、長きにわたる活動は、会員・中小企業の皆様、関係各位の温かいご支援のおかげと、心より感謝申し上げます。

この感謝の気持ちを込め、また未来への新たな一歩を踏み出すため、下記のとおり記念式典行事を開催いたします。ご多用中とは存じますが、ぜひご来場いただけますよう、心よりお待ちしております。

- 日 時 令和8年2月17日(火) 14:30～19:00
- 場 所 山口市「かめ福オンプレイス」
- 内 容
 - 記念式典（記念表彰ほか）
 - 記念講演 テーマ「地域から日本を変える！これからの企業のあり方」
講 師 キャスター 伊藤 聰子 氏
(経済産業省中小企業政策審議会 委員ほか)
 - 記念祝賀会
 - 県内組合による展示会
- お問い合わせ 山口県中小企業団体中央会 ☎ 083-922-2606



詳細は中央会HPよりご確認ください

モデル組合 ビジョン紹介

協同組合唐戸商店会

下関市唐戸町2-12
理事長 山口昌則



協同組合唐戸商店会HP

「モデル組合」が策定しているビジョンの概要を紹介します。

モデル組合とは…共同事業を活発に行いつつ、組合員企業の持続的発展に向けた将来像を有し、他の組合の模範となる組合として山口県中央会が認定した組合

〈現状〉

当組合は、下関市の中心部に位置する唐戸地区において、地域の商業振興とまちづくりを目的として活動を続けている。昔から市場や観光拠点として賑わいを見せてきた唐戸エリアであるが、近年は大型商業施設やオンライン販売の普及、また少子高齢化の進行などにより、来街者数や購買力の低下といった課題を抱えている。

一方で、唐戸市場やカモンワーフ、歴史的建造物や観光資源に恵まれた立地を活かし、観光客の集客力は一定の強みを維持しており、当組合としても、地域イベントの開催やスタンプラリー等を通じて来街者の回遊性向上を図るとともに、組合員の店舗支援や共同事業、共同管理によるコスト削減に努めている。

組合員の高齢化や後継者不足などの課題に対し、今後の商店街存続のためには若手事業者の参入や新たな事業モデルの構築の必要性を認識しており、観光客と地域住民の双方に支持される商店街を目指し、デジタル施策の導入や空き店舗の活用、地域との連携強化などの課題解決策を行っている。

〈存在意義やビジョン、将来像〉

存在意義：

地域に根差した商業者が互いに支え合い、地域住民と来街者の暮らしや交流を豊かにすること

商店街が単なる買い物の場にとどまらず、人々が集い、語らい、文化や歴史に触れる「まちの顔」としての役割を担うことを使命に活動する。

ビジョン：

伝統と革新が調和する、にぎわいと魅力あふれる商店街

唐戸地区の歴史や文化を大切にしながら、新しい価値やサービスを積極的に取り入れ、多様な世代や国籍の人々に選ばれる場所を目指す。

将来像：

次世代を担う若手事業者や新たなチャレンジを応援し、地域資源を活かした商品・サービスの開発、デジタル技術を活用した発信力強化、空き店舗の利活用などを進めていく。また、地域住民・行政・観光関連事業者との連携を強め、持続可能な「人が集い、人を呼ぶ商店街」として発展することを目指す。

〈上記の実現に向けた行動指針・具体的計画〉

- (1) 青年部による毎月の夜市イベントの開催
- (2) 「商店会に加入するメリット」チラシの作成・配布
- (3) 空き店舗の活用と新規事業者支援
- (4) デジタル施策の推進
- (5) 地域連携と観光資源活用

